

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名 古川 敬 康	職名 教 授	学位 博 士 (哲 学) (The Southern Baptist Theological Seminary 1994年)
-----------	--------	--

研 究 分 野	研究内容のキーワード
メタファー論、説教のための解釈学と修辞学、喪失心理学	弁証法的メタファー、文学的解釈、悲嘆作業による意味論的癒し

研 究 課 題
<p>現代人が喪失心理学の示す悲嘆作業を経ての癒しを説教への傾聴により体験できるよう、何をどのように説教は語られることを求められているか。</p> <p>具体的には、1) 喪失体験に基づくメタファー的に表現されている聖書の福音の意味を明らかにする文学的解釈を行うこと、2) 使信が聴き手にとって癒しの出来事となるように、福音の意味を表現する修辞学的なメタファーの活用法を明らかにすることである。</p>

担 当 授 業 科 目
<p>キリスト教学Ⅰ(前期)(看護学科) キリスト教学Ⅰ(前期)(福祉学科) キリスト教学Ⅰ(前期)(栄養学科) キリスト教学Ⅱ(後期)(看護学科) キリスト教学Ⅱ(後期)(福祉学科) キリスト教学Ⅱ(後期)(栄養学科) キリスト教と西南女学院の歩み(前期)(看護学科) キリスト教と西南女学院の歩み(前期)(福祉学科) キリスト教と西南女学院の歩み(前期)(栄養学科) キリスト教と西南女学院の歩み(前期)(英語学科) キリスト教と西南女学院の歩み(前期)(観光文化学科) 宗教と人間(前期)(看護学科) 宗教と人間(前期)(英語学科) 宗教と人間(前期)(観光文化学科) 宗教と人間(後期)(福祉学科) 専門研究Ⅰ(通年)(福祉学科) 専門研究Ⅱ(通年)(福祉学科) 卒業論文(通年)(福祉学科) キリスト教と生命倫理(前期)(助産別科)</p>

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【キリスト教学Ⅰ】</p> <p>学生と教員の集中力向上のために祈りをもって始めた。前期と後期の授業内容を1冊の教科書にまとめており、前期後期を問わずに縦横に講義ができた。また学生は、予復習がテキストによりできた。進むに当たっては、学生のほとんどにキリスト教の背景がないため、必要に応じてテーマ毎にレジメを配布し、理解が出来たかを質問し確認することを心掛けた。全体の流れの中で確認できるように、繰り返し目次に戻り、当該授業の講義の位置づけを明示した。板書は、イメージしやすいように図解を心掛けた。</p> <p>授業内容はシラバスに従って建学の精神である「感恩奉仕」の精神の背景にあるキリスト教を学術的に現代の問題に絡めて説明し、その今日的意義を理解できるように工夫した。天地創造からキリスト出現の予言まで</p>

を扱った。

学問的な「批判力」の意義と、その基準としての聖書の価値観を説明し、学生自身が自己の存在意義を意味論から理解を深めるように努めて具体的例を取り上げ、学生同士で折々に語りあう機会を持つ工夫をした。

テストは、問題を予め提示し、学生が共同して準備するように具体的な指導をし、復習を十分して理解した上で自分で表現できる力を具えるように工夫した。1問は、個々人の統合的理解を問うものとした。

授業科目名【キリスト教学Ⅱ】

前期の学びを復習した上で、キリスト教の成立過程、イエス・キリストに対する信仰内容、イエス・キリストの示す神の愛の理解、その愛に照らしての自己理解、及び、奉仕の精神の重要性につき、理解し深めることができるように、前期と同じ方法による工夫をした。すなわち、イエス・キリストの説いた神の国、愛と赦しの教えと癒しの活動、その死と復活と昇天の物語を通して、それぞれの場面で何が大切なこととされているかを、実生活と結びつけながら理解できるように工夫した。

また、前期のテストの総評、良く理解している答案とはどのようなものが具体的に示して、後期の授業を受けるに当たって理解力を向上できるように工夫をした。

更に、学生の前期の授業評価に鑑み、昨年とは異なり、後期も、授業内容の要点をテキストに沿ってプリントで配布し、学生が自ら要点を把握しながら授業を受けられるような工夫をした。

授業科目名【キリスト教と西南女学院の歩み】

自校学の科目として、学生が西南女学院大学の学生としての自己理解と帰属意識を自ら育むことができるように、キリスト教に基づく「感恩奉仕」という建学の精神を軸に据え、一方で、その背景と理念を提示するとともに、他方で、本学における象徴的な人物を複数取り上げて、身近なこととして自分と具体的に重ね易いように内容を構成した。特に、人物については、オムニバス方式により、講師を招いて、各人物の実像を浮き彫りにし印象あるものとなるように工夫した。

また、学生の理解が深まるように、各回の学びのレポート、関心をもつテーマに関する調査レポート、チャペル礼拝のレポートを課題とした。さらに、創設者等の墓地である「西南の森」に行き、本学の歴史を肌で感じる体験ができるように奨励した。

授業科目名【 専門研究Ⅰ 】

学生が意味論に関する基礎的理解を修得することから始め、続いてV・フランクルの意味論の全体像を学ぶことを目指し、その上で、喪失心理学に関する専門書を読むことができるように指導した。後半は、テーマに関する研究書を早く、多く読み、大切な個所を見出す方法を指導した。さらに、学生が学生支援を目指していることに鑑み、カール・ロジャーズの臨床心理学を意味論から研究することも取り入れ、意味論からのその意義を探求した。

進め方においては、学生が、専門書を深く読み込む力をつけることができよう、具体的な指導をした。その指導に当たり、ハーバード大学における研究方法に関する書籍を副読した。

授業科目名【 専門研究Ⅱ 】

専門研究Ⅰで学んだV・フランクルの意味論に関する基礎的理解を前提に、学生が全員、養護教諭を目指していたことから、研究テーマを将来、自分が養護教諭になったことを想定して設定するように指導した。そのテーマに沿って専門的知識の習得として、理解を深め、研究論文を完成させるように指導した。その際、独自の研究となるように指導を工夫した。

ゼミでは、各自がどこまでをどのように論文完成に向けて研究したかを分かち合い、相互に質問をしたり意見を述べたりして、研究内容を深めることができるように工夫した。

授業科目名【 卒業論文 】

学生が卒論のテーマにそって、論旨を展開する構成をできるように論理の力を修得できるように工夫した。その論理的思考力をつける具体的方法として、専門研究Ⅱでの成果を卒論テーマにそって必要十分であるかを検討し、研究を自ら深めることができる力を養えるように指導した。さらに、資料の収集に当たっては、テーマとの関連のあるものに絞る能力、資料の中の重要度の判断基準を設定する能力、それを統合して論文に実際に用いることができる能力が培われるように指導した。特に、方法論、先行研究的なものの存在、文献リストの検討、結論がはじめの問題提起に対して適切な応答となっているかという点については、幾度も確認することを指導した。ただ、養護教諭になった時を想定しての研究ではあったが、表題の「養護教諭の視点」ということへの必要かつ十分な言及をなすことへの指導は不十分であった。

授業科目名【キリスト教と生命倫理】

助産師を目指す学生の多くにとり、初めてのキリスト教であるので、前半はキリスト教の基礎的知識を扱い、その後で、キリスト教から見た生命の尊さ、生命の誕生、死の意味を扱った。続いて、優生学、DVの夫婦関係、離婚などに関するキリスト教の物の見方を解説した。その上で、助産師としての自己アイデンティティ、助産師の直面する死産や五体不満足児のケアの課題なども取り上げるように努めた。プリントを配布して理解と復習がしやすいように工夫した。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
Academy of Homiletics 日本キリスト教教育学会 日本基督教学会	幹事 (2007年4月～現在に至る) 事務局 (2016年4月～現在に至る)	1991年 (平成3年) 10月
		1993年 (平成5年) 10月
		1993年 (平成5年) 10月
日本キリスト教社会福祉学会 日本新約学会		1994年 (平成6年) 7月
関西新約聖書学会		1994年 (平成6年) 9月
		2010年 (平成22年) 6月

2017年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(学術論文) 「中動相の理解が聖書解釈にも たらす意義の一考察」	単	2019.3	西南女学院大学紀要 Vol. 23	① 新約聖書のギリシア語の動詞の1つの相である中動相の背後にある歴史を振り返り、他の相との比較における特徴を浮かび上がらせ、中動相の固有の意味論的意義を指摘し、それを動作主の受影性であるとする説を支持し、1コリント9:19-23を例に、聖書テキストも中動相を理解して解釈するとき、テキストの意味が異なってくることを論じ、中動相の理解の重要性を提示する試論である。 ② 著者名 古川敬康 ③ 総頁数 P. 1-12 ④ A4
(翻訳) なし				

2017年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学会発表) なし				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
中国の高等教育カリキュラム改革に関する研究 — 教養教育を中心として —	西南女学院大学	○神崎明坤 古川敬康 (林楽常) (呉雲珠) (張曉鵬)	1,312,000円

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
なし			

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
社会福祉法人北九州ナオミ福祉会	理事	2004年（平成16年）4月 ～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
(本部関係) 理事、評議会委員、連絡協議会委員、運営協議会委員、 学院宗教主任、拡大宗教委員会議長、宗教主事会議長 キリスト教センター長、キリスト教センター便り編集委員長、キリスト教教育研究会事務局長、 大学・大学短期大学部ハンドベルクワイア顧問 維持会常任幹事、職員研修懇談会職員研修委員会委員、百周年記念事業委員会委員長、 同キリスト教教育功労者委員会委員長

寄付行為変更検討委員会委員

その他、職務上必要的に出席するもの：

幼稚園運営会議・卒園式、中高入学式・卒業式・入試判定会議、後援会役員会・総会、同窓会総会

(大学・大学短期大学部)

宗教主事、宗教委員会議長、運営会議構成員、国際交流委員会委員

非構成委員であるが職務上出席するもの：評議会、点検評価改善会議構成員、

学友会関係：ITKイラストサークル顧問、映像制作愛好会顧問（本年度限りで解散）、

LOD ダンスサークル顧問